

都立国分寺高等学校 グランドデザイン

【生徒の現状】

学習活動：基礎学力を向上させようとする態度を持ち、与えられた課題に取り組むことができる。

難関国公立大学合格を目指す進路実現の意識が高い。

課題：暗記型の学習に終始してしまい自らかんがえようとする姿勢に乏しい。

進学に対する動機や社会に対する関心が弱い

対策：理念に踏み込んだ考察を行おうとする姿勢の涵養や開かれた視野での自己の将来像の育成が必要である。

特別活動：全校生徒が参加し、充実した活動に満足感を得ている。4つの学校祭を短期間で実施させるプロセスを1年間の中核として位置づけ、高度な完成度を誇っている。

課題：特別活動と学習活動のバランスが取れない事例がある。特別活動で培った力を認識し他の分野に応用していく態度に乏しい。

【学校の現状】

学習活動：専門性の高い授業、生徒の主体的な取り組みを求める授業、きめ細かい指導が行われる習熟度授業が充実している。

課題：教科の枠を超えた指導体制の検討。【予想される社会の変化】に対応した指導の実践。

対策：授業だけでなく日常的な場面を通じて生徒に社会に目を向けさせ、教員が生徒に語りかける機会を増やしていくことが求められる。

特別活動：生徒の活動を保証し、主体的な取り組みを尊重している。

課題：入学生の変化もあり、学習活動と特別活動の両立が立ちゆかない事例が散見する。

対策：膨らんできた学校での取組を精査し、教員・生徒双方の多忙感を減らしていくことが求められる。

【教育目標】

将来の日本のリーダーになり得る生徒を育成するために、教養を深め、進取の気性を養い、知、情、意を兼ね備え、心身共に健康で調和のとれた人間を育成する。

学校像/学校経営計画

本校は、昭和44年開設以来、学業と学校行事・部活動等の充実と両立の指導を継続し、高い学力を身に付けた生徒の育成を図りながら、豊かな情操と適確な判断力等も身に付けた生徒、及び、心身ともに健康な生徒の育成を図っている。また、進学重視型単位制高校の特色を最大限発揮し、進学指導特別推進校として、将来の日本社会を支える高い資質をもった生徒の能力の一層の伸長を図り、国公立大学や難関私立大学等への進学希望実現に努めている。

【予想される社会の変化】

・生産人口の激減や単純労働の減少 ・女性の社会進出 ・労働形態の多岐化 ・グローバル化の進行 ・SOCIETY 5.0の到来

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】

本校の教育目標や校歌に掲げられている「知」・「情」・「意」を兼ね備え、心身共に健康で調和のとれた人材

（1）「知」を有する人材

深い教養を身につけ、基礎的で幅広い学習によって身につく豊富な教養を持つとともに、他人の意見にも耳を傾けられ、お互いを尊重しつつ理解できる能力を持つ人材。

（2）「情」を有する人材

正当な判断ができる理性を身につけ、さまざまな領域をつなぎ、広い視野から物事を判断できるとともに、それらを協働しながら社会的に正しく運用できる能力を持つ人材。

（3）「意」を有する人材

進取の気性を持ち、リーダーシップを発揮できる人である。自ら課題を探してそれを解決しようとする意欲と行動力があり、さらに社会や日本のリーダーとしてのマネジメント能力を持つ人材である。

【育成すべき資質・能力】

1 教科・科目において、三要素に基づく学力を確実に習得する力（個人の資質・能力）

（1）基礎的な知識・技能を確実に学び取る力

（2）深く学び、主体的に学ぼうとする力

（3）領域に縛られない豊かな発想をもって広い視野で物事を考える力

（4）学習によって得られた基礎的な素養を教科・科目の垣根を越えて結びつけられる力

2 自分自身の心身を鍛え、健康で元気な生活を送る力（個人の資質・能力）

（1）健康の保持増進に努め、困難を克服する努力を継続していける力

（2）自己の行動を管理し自律的な時間管理ができる力

（3）現状からの前進を図り向上していこうとする力

（4）正しい判断ができる健康な心と他者を思いやる感性の豊かさを育む力

3 他者と協働しながら困難を乗り越えて課題を解決する力（主に高校生活の中で集団としてみがかれる力）

（1）変化を受け入れ、困難な事象に忍耐強く対応する力

（2）自らの実践を振り返り、他者と協働する力

（3）自らを表現するとともに、他者を寛く受け入れる力

（4）自らの目標に向かって挑戦し続ける力

4 社会に開かれた視点を持って課題を見いだそうとする力（広く社会に開かれた視点を持って社会人として成長していこうとする力）

（1）自らが生きる社会に関心を持ち、自律的に課題を発見していこうとする力

（2）情報を広く収集し、整理し、課題解決につなげようとする力

（3）自らの将来設計を社会との関連の中で構築し、常に修正をしながら社会に貢献しようとする姿勢

（4）他者との協働の中で、生涯にわたって自己実現を図り続けようとする姿勢

【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力	レベル1 他から与えられる 習う（做う）	レベル2 自分で作る 踏み出す	レベル3 他にも分ける 他に拓く つなぐ	目指すべき 生徒の将来像
1 教科・科目において、三要素に基づく学力を確実に習得する力	学習を支援する者（教員等）に与えられた課題に取り組ながら、確実に知識・技能を身につける。 自身の課題を発見し、課題解決に向けて自身の学習スタイルを模索する	自身の課題解決のために、自律的主体的に取り組む。	自身の課題解決を図るだけでなく、他と共働する姿勢を持つ。	4 社会に関かれた視点を持って課題を見いだそうとする力 （3）自らの将来設計を社会との関連の中で構築し、常に修正をしながら社会に貢献しようとする姿勢 （4）他者との協働の中で、生涯にわたって自己実現を図り続けようとする姿勢
2 自分自身の心身を鍛え、健康で元気な生活を送る力	生活習慣を整え、学習と他の活動とのバランスを上手に取ろうと努力する	積極的な学習活動を図るためにはどのような生活をするべきかを考え、加えて、多忙で困難な時期でも、安定した心身を保つために何をすればよいか、考える姿勢を持つ	様々な体験を積み、人間関係も経験した上で、自らの行動を他との関連の中で考え、将来につながる自己のあり方を構築していく	学ぶことの楽しさを知っている人物
3 他者と協働しながら困難を乗り越えて課題を解決する力	教員や先輩の指導を受けながら、与えられた課題を解決し、他者と共働しながら目標を達成使用と努力する。	本校での体験を基にして、課題を解決し、次に取り得る方策を考え、新たな段階へと向上していこうと努力する。	自らの経験や成果を後輩などの他者に伝え、他者に伝えることによってさらに自らを相対化し、発展させようとする。	生涯にわたって学び続ける資質・能力を持ち、集団のリーダーとして社会を牽引する人物
4 社会に関かれた視点を持って課題を見いだそうとする力	指導によって得た知識・技能が自らの生きる社会とつながっていることを意識する。 自己の将来を考え、情報を収集し、社会の中の自分を意識する。	教科・科目で習得した知識・技能を社会に広げ、自らの将来につなげていこうと考える。 情報を収集し、社会の中で、自分が将来どのような活躍を図れるか、考える。	教科・科目で習得した知識・技能を社会に広げ、他者にどのように影響を及ぼす、あるいは、貢献できるかを考える。 自らの将来設計を具体的にイメージし、そのための方策を具体的に考え、努力する。	

